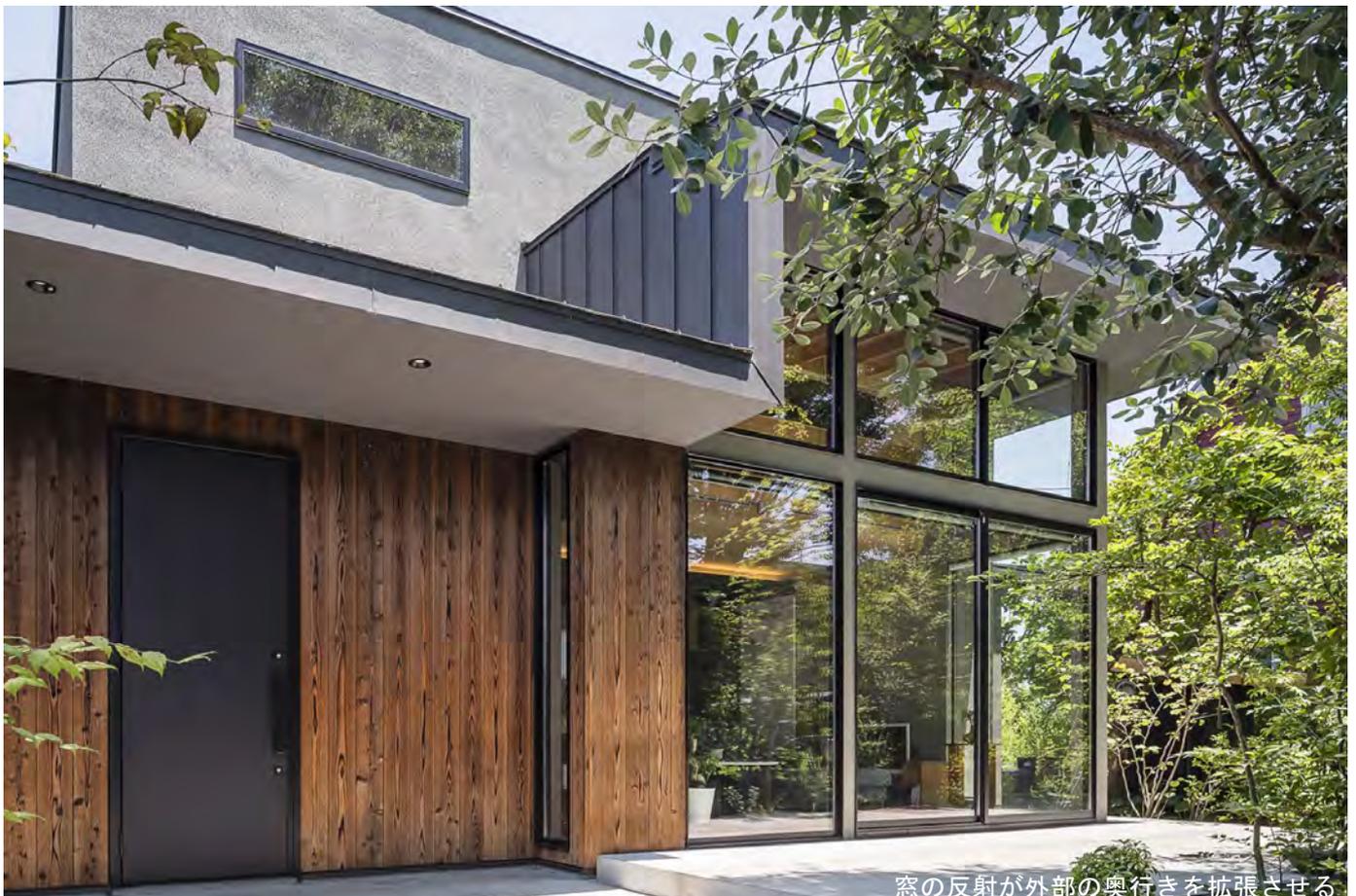


# 久喜の家 [林泉]

## 周囲の自然環境と対応する住まい

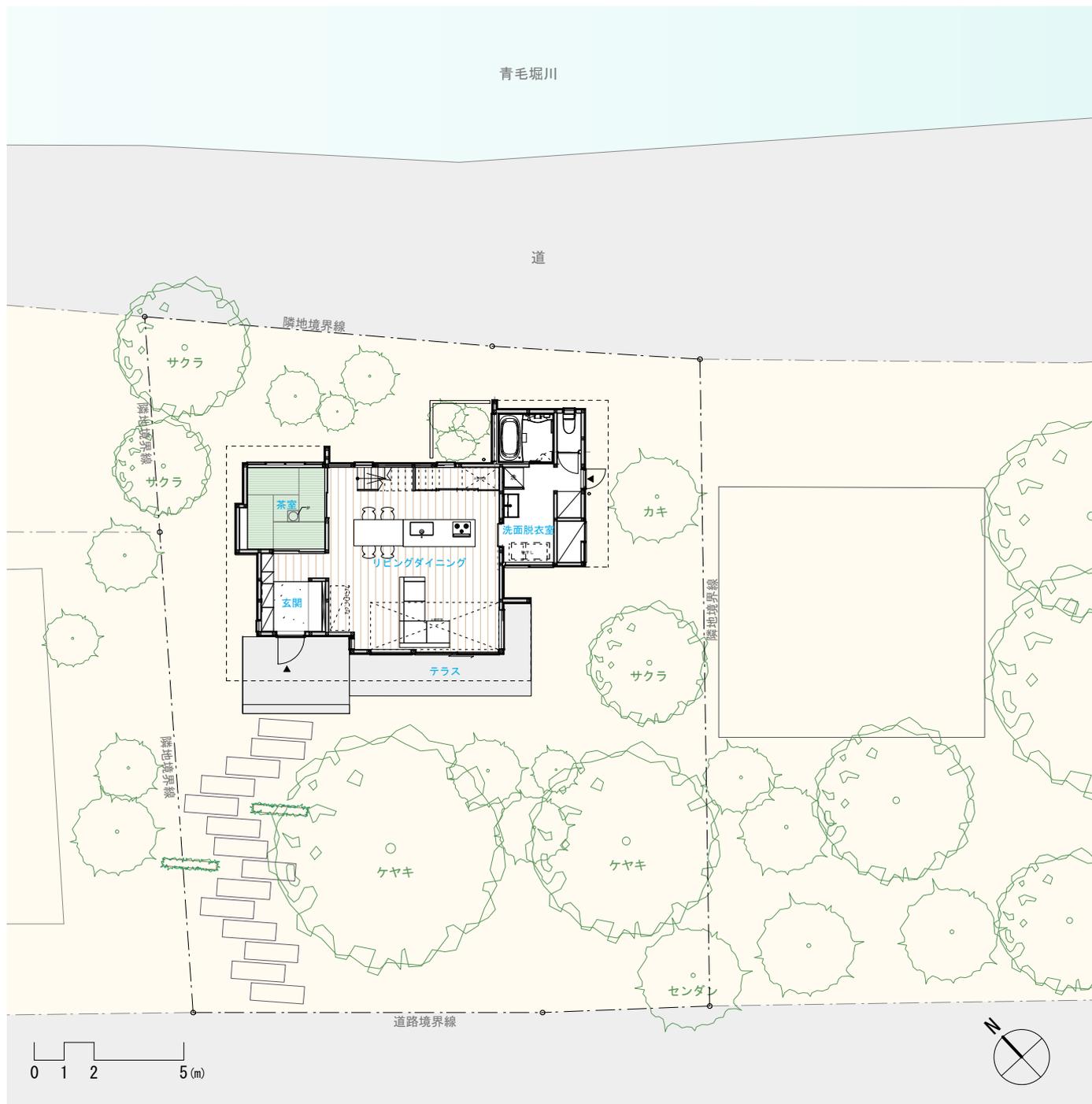
夫婦2人で暮らす戸建て住宅。北側の川と既存の樹木、家主自らが彩る庭園に大きな開口部とひとつらなりの庇が対応する、環境と溶け合う建築。

主要用途	:	専用住宅
構造	:	木造
階数	:	地上2階
建築面積	:	67.06㎡
延床面積	:	99.70㎡



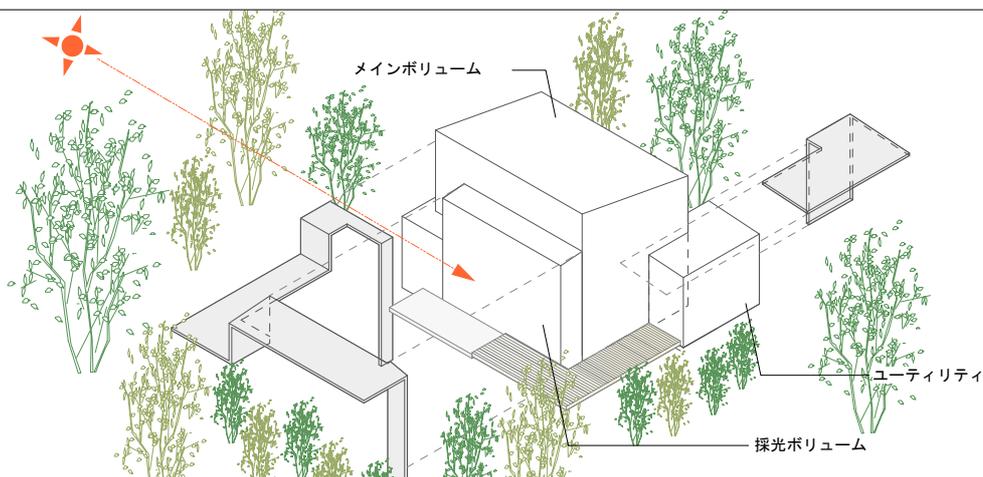
窓の反射が外部の奥行きを拡張させる

北側の川と樹木に囲まれた自然豊かな環境。2階のワークスペースの窓から川を眺める。南に向いた大開口と半層吹き抜けでリビングに陽が入る。玄関までのアプローチとリビングの大開口で住人が手がけた豊かな庭園を楽しむ。

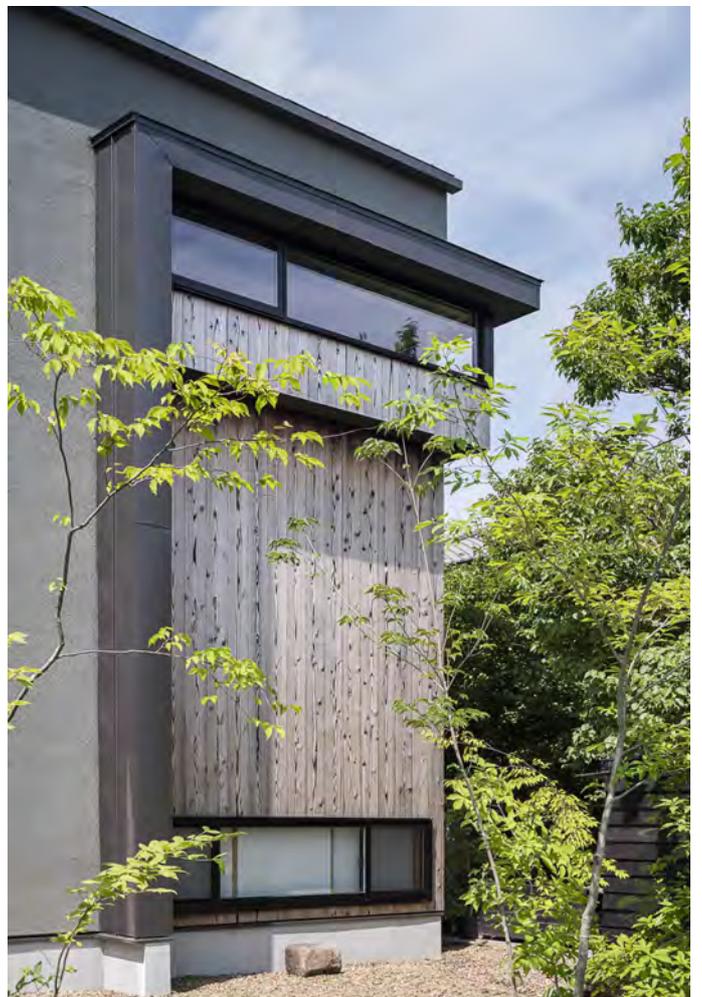
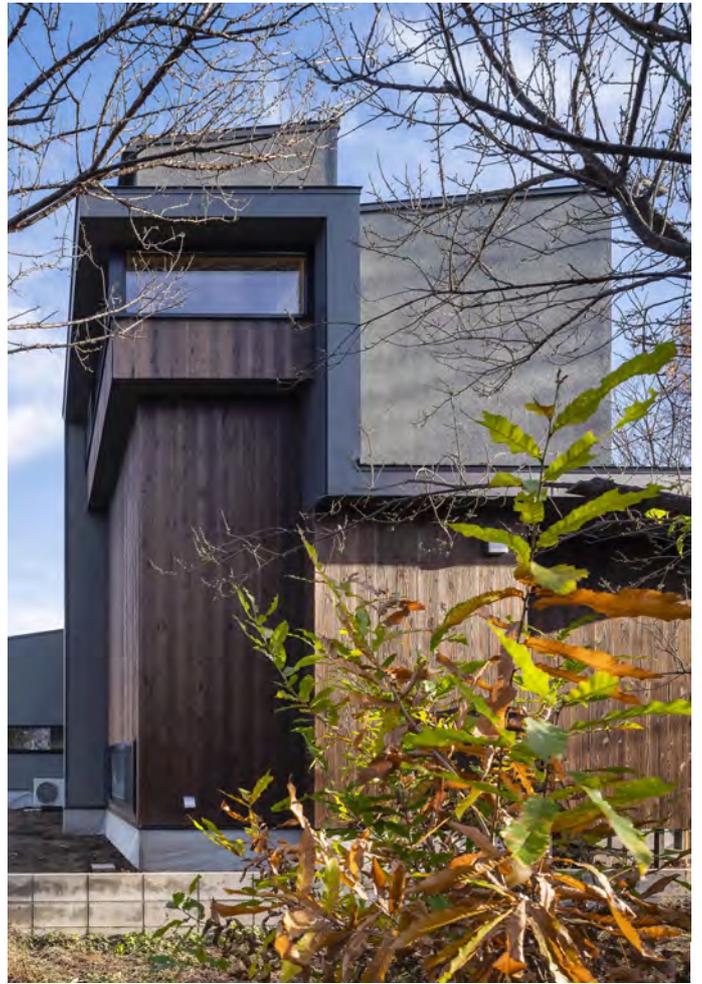


### 庇とボリューム構成

メインボリュームに採光ボリュームと、ユーティリティを結合。そこにまとわりつく、ひとつらなりの庇は遮光と雨よけの役割を果たし、外部と建築を接続する役目も担う。



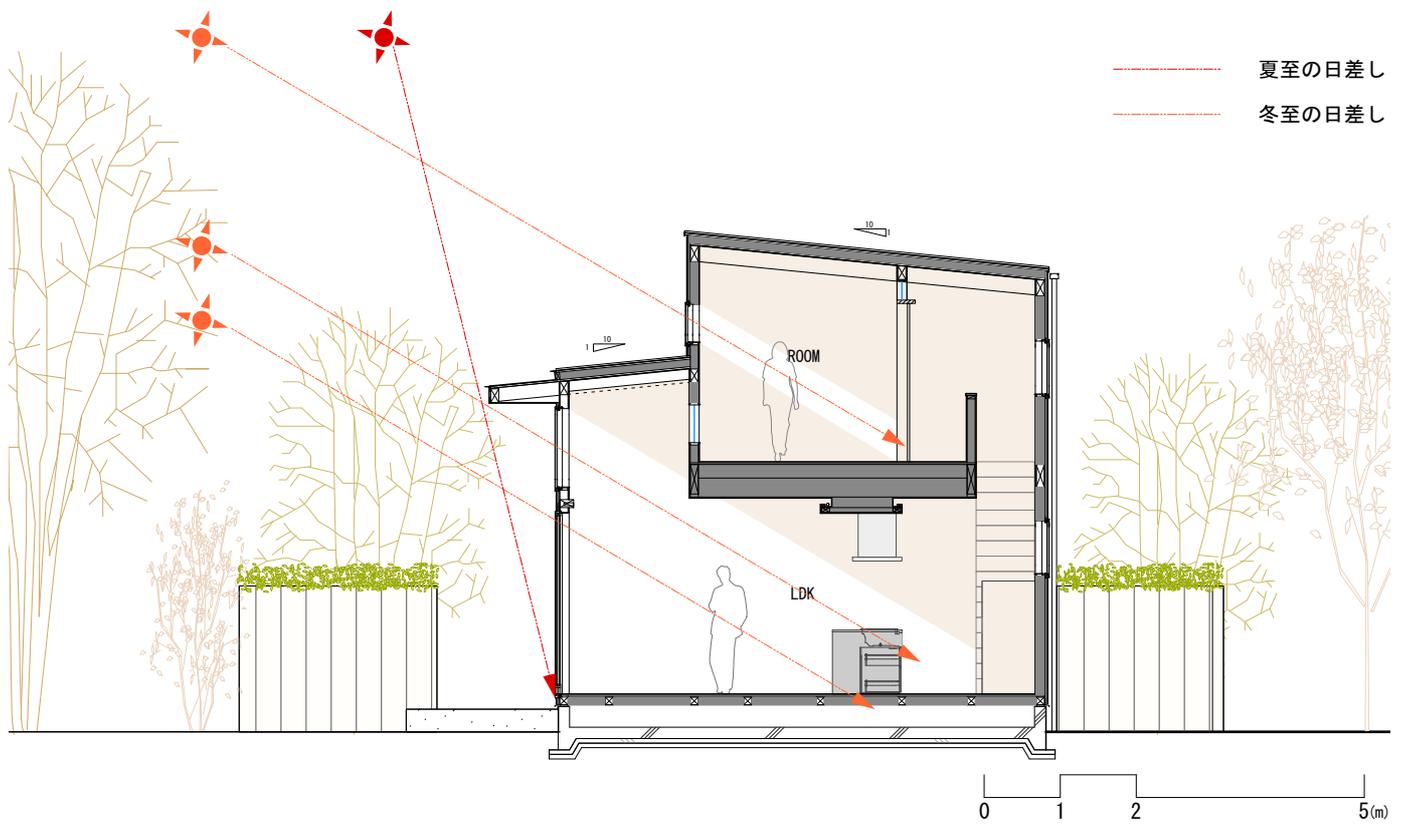
●樹木に向かって伸びる一連なりの庇が外部と建築を繋げる



●樹々と一体となる住まいの主空間



樹木へと伸びる庇が建築と環境を調和する。庇と落葉樹が夏の鋭い日差しを遮り、冬には葉が落ちてあたたかな陽を取り入れる。住まいの主空間となるリビングルームの大開口は外部と接続し、室を延長する。





夜間に浮かぶ南面ファサード



内外の明暗によりヒダのもつ奥行きが浮かび上がる

●住人自らによって彩られたランドスケープの中の住まい

